

第24回 稲門建築会 特別功労賞（業績）

ほしの かずひろ
星野 和弘 (苗 S32) ホシノ国際学際研究所 所長

【功績と推薦理由】

星野氏は建築専門家として中東、東南アジアの情報通信社会の発展に大きく貢献しました。最初の海外での業務は建国直後のクウェイトにおける主要電気通信施設の設計監理でした。工事会社より長期のサンドストームや砂漠の敷地で根切中に遭遇した予期せぬ岩盤による工事の遅延に起因する工期延伸と工事費の増額を要求されました。

その正否をめぐり、工事会社側の英米法に精通した建設業専門弁護士との数年にわたる会議での討論や英文レターの応酬で辛苦を経験しました。

帰国後この経験を生かして、海外プロジェクトに従事する人のための「指南書」として書かれたのが「建築英語事典」です。業務の流れに沿って、準備される契約書・図面・仕様書・数量調書などの構成や使われる言葉や表現を詳細に解説し、英語を駆使して業務を遂行する「やり方」を詳細に解説した日本で最初の本です。

工事中の文書の章では実際に使用された損害賠償問題などに関する英文レターの実例も多く紹介されていて、正に実践向きの指南書となっています。契約書・仕様書の章で紹介されている英語の表現は、著者が収集した膨大な資料の中から厳選された的確な表が多く紹介されていて、読者より「心憎いまでの表現」との感想が寄せられたそうです。また図面に関する章では、数多くの図版を使った木目細かい解説がなされています。

この本の末尾には英語での建築用語を単語毎に解説した章も設けられており、この部分は「辞典」としても利用可能です。3,000部売ればベストセラーといわれる技術書分野で、初版が1978年に出されると2年間で34,000部が出版され、その後40数年を経過してもなお重版を続け、海外プロジェクトの推進と人材の育成に大いに貢献しています。

初版の2年後、1980年にライプチヒ国際出版コンクールで銀賞を受賞しました。このコンクールは1963年から開催されている世界的に権威のあるブックデザインの国際コンクールで「世界で最も美しい本を選ぶコンクール」と称されています。デザインコンセプト、機能性、タイポグラフィ、素材の選択、印刷、製本などの観点から専門家が審査するコンクールで、建築学科で学んだ星野氏らしい著書に対する木目細かいこだわりが賞につながりました。

1988年に「和英建築用語表現辞典」を上梓し、この2冊は建築海外業務専門家の必携図書となりました。

業務経験を個人のノウハウに留めず、日本で最初の海外建設業務の実践向き手引書としてまとめ、社会で役立つ形にした功績は大変大きく、稲門建築会特別功労賞（業績）に推薦します。

推薦者 齋藤 聡 (苗 S51)

【略歴】

- 1957年 (昭和32年) 早稲田大学第1理工学部建築学科卒業、電電公社入社
- 1959年 「ベトナム国内のマイクロウェブ中継網建設プロジェクト」のチームに配属
- 1965年～ クウェイト国郵電省電気通信設備拡充計画のコンサルタント業務に従事
サウジアラビア王国郵電省技術顧問として同国の電気通信施設の整備・拡充・発展に寄与。中近東における情報通信社会の実現に大きく貢献
- 1978年 「建築英語事典」出版 (彰国社)
- 1979年 クウェイトの主要電気通信施設を完成、同国の通信インフラの拡充・発展に貢献
- 1982年 「楽しい建築英語」出版 (彰国社)
- 1988年～ 「和英建築用語表現辞典」出版 (彰国社)
数多くのインテリジェントビル関連国際会議やセミナーで講演
インテリジェントビルのコンセプトの発展・普及に尽力
東南アジアで多くのインテリジェントビルプロジェクトに従事
在職中、退職後を通じて著作活動の他、各種海外派遣専門家養成研修会で講義
海外で活躍できる人材の育成に大いに貢献
- 2010年 長年の国際活動の功績により、国連の組織である国際電気通信連合 (ITU) 日本支部「日本 ITU 協会」より「日本 ITU 協会国際協力賞」を受賞
- 2012年 「建築英語」語源漫遊事典 出版 (彰国社)

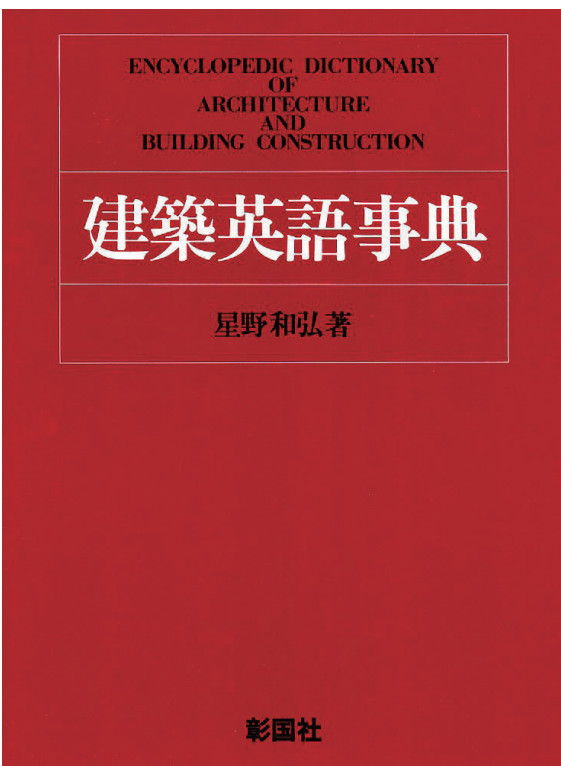
【主な著書 / 専門家として関わった専門書】

- 建築英語事典 1978年 彰国社
- 楽しい建築英語 1982年 彰国社
- 和英建築用語表現辞典 1988年 彰国社
- 〈建築英語〉語源漫遊事典 2012年 彰国社
- 建築大辞典 1974年 彰国社
- 欧文見出し語のチェックを担当
- 日本建築辞彙 2011年新訂版 中央公論美術出版
- 英仏独語見出し語のチェックを担当
- 2011年建築学科業績一覧でこの本の紹介あり

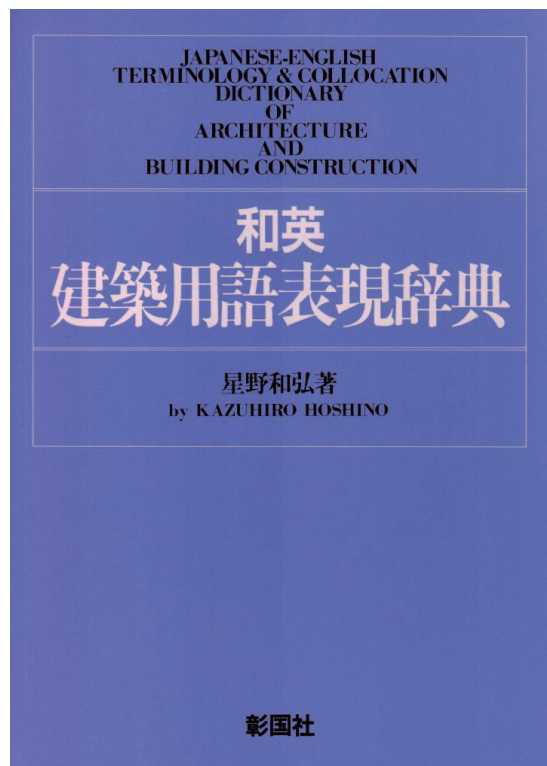
【主な担当プロジェクト】

- タイ電話公社本社ビル、インドネシア国立銀行ビル、テレコムマレーシア本社ビル
- マレーシアで都市基幹コンセプト「マルチメディアスーパーコリドー」を提案し、マハティール首相の賛同を得て実行に着手

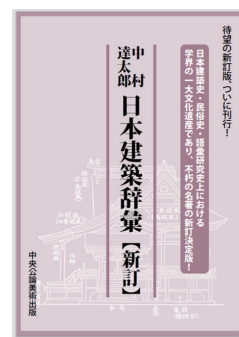
主な活動



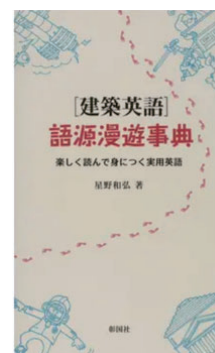
1978年6月初版



1988年2月初版



2011年10月初版



2012年12月初版



電電公社建築局先輩の内田祥哉先生から依頼があり、英・仏・独の見出し語チェックを担当